

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 6年 1月30日

事業所名：運動療育支援教室ほおずき

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づき、スペースを確保し、サービス提供を行っている。	はい:93% どちらともいえない:5% わからない:2% ・参観日で見せてもらった感じ「はい」です。	必要に応じたスペースの確保はしている。落ち着くための空間も設けており、今後も現状維持していく。
	2	職員の適切な配置	職員配置指定基準を満たした職員数を配置。加配職員も配置している。	はい:79% どちらともいえない:7% いいえ:2% わからない 12% ・適切だと思う。・適切な数は分からないが大丈夫と思う。	定員に応じた職員配置をしており、今後も維持、継続していく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内はバリアフリー化している。入ロースロープやトイレの手すり等を設置している。	はい:90% どちらともいえない:5% わからない:5% ・扉の開閉が手動で、重たいので少し難があるが、子どもがすぐに出にくいという点では安心。	現状の維持に努めます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除と消毒、日々使用物品の消毒の実施している。室内の換気と空気清浄機の活用。安全面にも気をつけている。	はい:90% どちらともいえない:7% わからない:3%	衛生対策は日々徹底し、心地良く過ごす事ができる様、空間の工夫をしていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月の定例会議、月末に翌月の活動内容の確認、準備、指導方法等の意見交換、翌月に前月の反省と改善点の検討実施。日々の活動の反省等も実施している。	/	様々な意見が得られるよう、今後も継続していきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価による評価を受け、改善の実施をおこなっている。	/	適切な運営に努めるとともに、定期的な実施を検討していく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の事業所内研修を実施。外部への研修もできる限り参加できるよう調整している。オンライン開催、外部講師による研修の実施もしている。	/	今後もできるだけ多くの研修に参加できるよう努めていきます。
適切な支援の提	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日頃の状況の把握とともに、送迎時に保護者のニーズを収集し、共有して課題を整理し計画に反映している。ケース会議等において、モニタリングや作成の検討を行っている。	/	今後も保護者からのニーズの把握を十分に行いながら、本人に合わせた計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	本人の課題に応じた計画を作成し、個別、集団での活動における支援目標を立てている。	はい:88% どちらともいえない:9% わからない:3% ・もっと具体的に目標設定してくれたらても分かりやすい	個別、集団での目標等も組み合わせながら計画を作成していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	一人ひとりに応じた目標設定を行い、課題の設定、実施の記録を記載している。関係機関との連携会議等にも参加している。		個々の目標設定を具体的な記載に留意しながら作成していきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々の支援において、支援計画との整合も見ながら、職員間での情報の共有、支援目標の共有に努めている。	はい:88% どちらともいえない:5% わからない:7%	計画書の内容を周知し、個人の状況に合わせて、適切な支援の提供ができる様、計画に沿った支援を行っていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎月職員と活動内容について話し合いを行いながら、計画立案、指導方法等の検討を行っている。		今後も継続して、自施設の支援目的に沿った支援が提供できるように努めます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇それぞれに応じたプログラムの時間割の構築を行い、時間を有効に使いながら活動に取組めるようにしている。	はい:93% どちらともいえない:2% わからない:5% ・色々と考えて下さりありがとうございます。	休日や長期休暇時には、普段の平日には難しいイベント等の計画も行っている。今後も時間の有効活用ができる様、保護者とも協力しながら取り組んでいきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	週ごと、月ごとでそれぞれの活動内容を変えている。マンネリ化せず、子どもたちの達成感に繋げていけるよう計画をしている。		飽きさせない工夫を行い、状況に合わせた取り組み内容の変化、工夫、改善をしています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日その日、その週の活動内容の役割分担について事前に確認、準備を行っている。		今後も継続していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々の活動の振り返りを行い、その日の様子、保護者からの情報等の共有をしている。		今後も継続していきます。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の様子を連絡帳に記載し保護者と共有している。送迎時にも伝達すべき事を共有している。個別の記録にも様子を記載しい、検証の材料としている。		今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングや評価を行い、必要に応じ見直し等を行っている。	今後も継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	要請があれば、児童発達管理責任者ができるだけ参加するようにしている。状況に応じ、支援職員も参加している。	今後も可能な限りサービス担当者会議に参加し、情報の共有をしていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアや重症心身障害のある子どもの利用はない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアや重症心身障害のある子どもの利用はない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者や相談支援事業所からの情報と共に、送迎時に情報収集等も行っている。	必要に応じて担当者会議の開催、情報共有等、問い合わせをしていきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	事例はまだないが、提供は可能である。法人内での移行についても、必要な情報提供できる体制はある。	保護者とも共有し、必要に応じた情報提供等を行っています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	関係機関などでの開催される研修等、機会があれば参加できるよう調整している。	オンラインも活用し、できるだけ参加していけるようにしたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他施設との交流が多いわけではない。	はい:21% どちらともいえない:5% いいえ:12% わからない:62% ・特に無くても問題はない。・事業所での機会はないが、他の場所で普段会うことができている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	定期的に事例発表会などの機会を設けるようにしている。		必要に応じ、実施して地域に開かれた事業所の運営を行っていきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时、または契約の時に契約書、重要事項説明書を用いて説明を行っている。	はい:90% どちらともいえない:7% わからない:3%	今後も丁寧な説明に努めていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時などに計画書を見せながら説明を行い、同意いただいている。	はい:86% どちらともいえない:12% わからない:2%	今後も丁寧な説明に努めていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別の相談に関しては助言等行うようになっている。ペアレント・トレーニングとしての実施はしていない。	はい:33% どちらともいえない:17% いいえ:19% わからない:31% ・特にお願いもしていない。・事業所での関わり方など毎回職員から伝えてもらっている。	必要に応じ実施はしていくが、現状は個別での対応を続ける。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者との情報交換・共有は連絡帳や送迎時など直接相談等で行い、共通理解を持てるよう心掛けている	はい:90% どちらともいえない:7% わからない:3% ・全体的な理解度は判断し兼ねるが、様子は温かく見守ってくれ助かっています。	今後も利用の際に話を行うなど、保護者と共通理解を行っていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時、お迎え時など機会はある。必要に応じて時間を作り相談に応じるようにしている。	はい:64% どちらともいえない:21% いいえ:7% わからない:7%	必要に応じた助言ができる様、環境の整備と知識の向上に努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会等はない。参観日などの機会に交流が持てる場はある。	はい:12% どちらともいえない:7% いいえ:31% わからない:50% ・保護者同士で会ったことはないが、機会があれば情報交換したいかも・・・	機会があれば検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口に関しては契約時に説明している。苦情解決体制の整備も行っている。	はい:50% どちらともいえない:5% わからない:45% ・今まで不満に思ったことがなく、他の方から苦情があったとも聞いたことはない。・言ったこともないし、苦情もない。	今後も迅速かつ丁寧に対応ができるようにしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	活動中の様子など、伝達、共有の難しい場合には映像等で伝達する事もしている。意思疎通や情報交換が行いやすい様、配慮している。	はい:86% どちらともいえない:7% わからない:7%	気軽に話ができる関係性の構築に努め、連携の強化がしていけるように努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等は発行していない。ホームページやLINE等を活用し、情報発信を行っている。	はい:81% どちらともいえない:2% いいえ:2% わからない:14%	個人情報の取り扱いを配慮しながら、継続して行っていきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に書面にて説明し、同意を得ている。マニュアルも整備し、細心の注意を払い取り扱うようにしている。	はい:90% どちらともいえない:5% わからない:5%	写真など含め、個人情報の取り扱いについては十分な注意を払い、必要に応じ、保護者に随時確認を行っている。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定している。職員は研修を行い周知するようにしている。玄関に置いており、保護者も目にする事ができるようにしているが、周知徹底にまで至っていない。	はい:81% どちらともいえない:5% わからない:14%	職員間だけでなく、保護者への共有も出来る様、周知方法を検討して行っていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	BCP作成しており、職員にも研修し周知している。玄関にも置いており、保護者も目にする事が出来るようにしている。年2回以上、非常災害に備えて子どもを交えた避難訓練も実施している。	はい:60% どちらともいえない:2% わからない:38%	訓練の仕方等、子どもたちにも分かりやすいコンテンツ等も用いて、理解に繋げる様努めます。火災だけでなく、地震、防犯等の訓練も行います。必要に応じ、保護者の方も含めた訓練も検討していければと思っています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	マニュアル作成とともに、事業所内でも虐待に対する研修を行っている。オンライン研修や外部講師の研修等にも参加し、意識を高められる様に努めている。		今後も研修などを継続し虐待防止に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
の 対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状、拘束が必要な状況にはないが、職員には拘束に対しての研修行い、理解に繋がっている。委員会を設置しており、必要な場合には委員会に議題をあげ、検討を行えるようにしている。		今後も継続していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者に確認し、把握を行っている。必要に応じたアレルギーに対する配慮、対応を行っている。		おやつの提供の機会がある為、保護者から情報提供、共有を必ず行い、適宜対応継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった際は、報告書に記録すると共に、共有、検討する機会を設けている。		今後も継続していきます。